



# エミールだより

# 1月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

## 「自立できる人間に育つ」

明けましておめでとうございます。

お正月はいかがお過ごしでしたか。「1年の計は元旦にあり」といわれますが、さまざまの「計」が浮かび上がったことでしょうね。

皆さんがこの文を読まれる頃は、私はネパールのポカラという町の保育園を訪ねています。12年ぶりの再訪ですが、その頃園に実習び来ていた先生たちと会うのが楽しみです。また、雄大なヒマラヤの山並みを見ながら、私も「一年の計」を立ててみたいと思います。

ところで、このところよく「自立」ということばを耳にします。昨日会ったある卒園児のお母さんからは、「うちの娘は来年高校受験ですけど、すっかり自立心の強い子になりました」と。また先日乗ったタクシーでは、たまたま卒園児のお父さんであった運転手さんから、「子どもは2人とももう社会人ですが、全く手がからず何でも自分たちで決めていきますよ」と。さらに以前もらったあるお母さんからの手紙では、「息子は2人ともさっさと自分たちでやってしまうので、親はさびしい気がします。」といったことです。

こんなことばを聞くと、私は思わず内心でニマリとしてしまいます。というのも、「自分で考え自分で判断し自分で行動する」という園での生活のねらいが、子どもたちが成長してから実を結んでいるからです。

① 子どもたちはまず0歳の頃から「自分の身体を自分の思いどおり動かすにはどうしたらよいのか」を、毎日懸命にマスターしようとしています。クラスや園庭にある教具や遊具は、全て子どもの自立性をうながすものとして準備されています。

② 子どもの活動は先生の指図や時間の制限のもとではなく、全て自発的に自分で選び、できるようになるまで取り組むことができます。こんな子どもの意思が尊重される自由な雰囲気だからこそ、活動の内容が確実に積み重ねられるものであり、その積み重ねが大きくなって具体的な場面にあらわれてくるのです。

もちろん世の中には、いくら自立心が強いからといって、それだけで全部うまくゆくものではありません。時には他人の知恵を借り手助けをしてもらう必要があります。しかし「天は自らたすくものをたすく」ということばもあるように、まず最初に自分がどれだけ頑張って努力したかが大切で、他人はそれを見て手助けをするのです。それにしても、卒園してずいぶん時間がたった後にこんなことばを耳にできることは、何とも嬉しいことですな。

園長より

## 保育参観のおしらせ

今年度最後の保育参観を行ないます。今回はクラス参観のあと好評の保護者のかたによる「子育てシンポジウム」をします。そのあと「給食試食会」で子どもたちといっしょに給食を食べます。必ず出席していただく行事ですので、よろしくお願い致します。

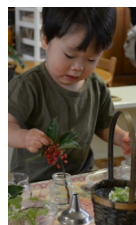
日時：1月26日(土) 9:00～12:30

内容：9:00～10:00 クラス参観

10:10～11:30 子育てシンポジウム

11:40～12:30 給食試食会

くわしいご案内は1/11(金)に配布します。



## 1月の行事予定

1	火	12/29日～1/3
2	水	年末年始休園
3	木	↓
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	ふわふわルーム
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	またにていクラス
22	火	避難消火訓練
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	保育参観
27	日	
28	月	誕生会
29	火	
30	水	
31	木	ペアレンツクラス

体育教室 5歳児

11・18・25日(金)

リズムク 4・5歳児 8日(火)

歌唱指導 5歳児 16日(水)

絵画指導 5歳児 24日(木)